

J-DAVID News



Japan Dialysis Active Vitamin D Research Group



気がつけば、もう師走。木枯らしの中、先生方も走り回っておられるのではないのでしょうか？
J-DAVID試験の症例登録期間は、来年6月末ま

での6ヵ月。事務局も走りますので、是非ともご協力お願いいたします。



世話人からのメッセージ

「ホルモンとしてのビタミンD」

田畑 勉先生(井上病院)

1980年代中頃より、ビタミンDの受容体が全身のさまざまな細胞にあり、ビタミンDの骨以外の作用が報告されました。免疫細胞にもビタミンDの受容体が存在することが報告され、故森井先生、西澤先生のご指導のもと「透析患者さんではアルファカルシドール服用で低下していた細胞性免疫が改善する」という報告をいたしました。この頃、わが国では透析患者さんのビタミンD経口パルス療法がビタミンD治療において脚光を浴びており、あたかも活性型ビタミンD製剤が血中副甲状腺ホルモン値を下げる道具として扱われた時期があったかと思います。当時、透析関連のシンポジウムなどで「ビタミンDが細胞性免疫を改善する」という私の発表はあまり相手にされませんでした。ただ、1986年にこの研究をJCEM(J Clin Endocrinol Metab)に出したところ、Editor直々私の拙い英文を訂正し、「興味深い内容であるためRapid Communicationで早く掲載するように」との返事をいただいたのを今も鮮明に覚えております。それ以後、ホルモンであるビタミンDが低下している透

析患者さんには補充療法としてビタミンDを処方するという日常診療を行ってきました。当然、高カルシウム血症、副甲状腺機能低下には注意しながらですが。2004年に庄司先生が「血液透析患者さんでアルファカルシドール服用例の心血管予後が良好」と



いう報告をされ、その後、海外からも同様の報告が続々とされています。まさに、活性型ビタミンD製剤が二次性副甲状腺機能亢進症の治療の道具から、生命予後に影響を及ぼす薬として見直されているものと思います。ただ、これらの報告は「活性型ビタミンD製剤を使用している患者さんは長生きしている」としているだけで、「活性型ビタミンD製剤を使用すれば長生きできる」というデータではありません。J-DAVID試験は前向き無作為化オープンラベルエンドポイント盲検化並行群間比較試験(Prospective, Randomized, Open-label, Blinded-Endpoint; PROBE法)を採用しており、今後の透析医療における活性型ビタミンD治療の位置づけを考える上で貴重なデータとなるものと確信しております。J-DAVID試験で世界初のエビデンスを日本発で発信できることが楽しみです。

最近の文献から

欧州の中年および高齢男性における血中25(OH)Dレベルと認知機能の関連

Association between 25-hydroxyvitamin D levels and cognitive performance in middle-aged and older European men

Lee DM, et al. J Neurol Neurosurg Psychiatry 80: 722-729, 2009.

【ポイント】 European Male Aging Studyの40～79歳の男性3,133例における断面調査において、25(OH)D濃度と認知機能との関連を調べた結果、25(OH)D濃度の低い群でDigit Symbol Substitution Test (DSST)でみた認知機能が低く、多変量調節でも独立していた。

最新進捗状況

累計登録数のランキング・進捗状況等を報告致します。(11月27日現在)

各地区登録進捗

地区	施設数	累計登録数	今月登録数
北海道	8	44	12
山形	3	0	0
宮城	5	2	0
東京	25	4	4
栃木	1	0	0
茨城・千葉	16	0	0
神奈川	2	12	0
愛知	17	2	0
大阪	36	159	3
奈良・和歌山	2	23	0
京都	3	54	7
広島	4	18	4
島根	7	0	0
徳島	2	0	0
高知	3	2	0
愛媛	1	18	0
福岡	12	5	0
沖縄	6	3	0
合計	153	346	30

累計登録数ランキングTOP10

順位	施設名	登録件数
①	井上病院／大阪	55
②	桃仁会病院／京都	47
③	翠悠会診療所／奈良・和歌山	23
④	佐藤循環器内科／愛媛	18
⑤	大野記念病院／大阪	15
⑥	小野内科／大阪	14
⑥	大町土谷クリニック／広島	14
⑧	北彩都病院／北海道	12
⑧	湘南鎌倉総合病院／神奈川	12
⑩	札幌北クリニック／北海道	10
⑩	小尾クリニック／大阪	10

11月度登録数ランキング

順位	施設名	登録件数
①	北彩都病院／北海道	12
②	西陣病院／京都	4
②	中央内科クリニック／広島	4
②	三軒茶屋病院／東京	4
⑤	田仲はびきのクリニック／大阪	2

症例報告書回収状況報告

登録	観察開始時	3ヵ月後	6ヵ月後	12ヵ月後
346	181	121	87	2

J-DAVID事務局からお知らせ



ご登録に際するお願い

- ・確実に書類等をお届けするために、ご登録頂いている先生以外に実務御担当医がいらっしゃる場合は、J-DAVID事務局にご連絡頂けますようお願い致します。
- ・症例登録後、こちらから登録結果をFAX送信致しますので、2～3日中に用紙が届かない場合は恐れ入りますが、事務局までご連絡頂けますようお願い致します。



編集・発行：J-DAVID研究会事務局
〒545-8585大阪市阿倍野区旭町1-4-3
大阪市立大学大学院医学研究科
代謝内分沁病態内科学 内
電話 06-6645-3806 FAX 06-6645-3808
データセンター
電話・FAX 06-6646-3105

ホームページもご覧下さい。
<http://j-david.info/>